

ゲストは水道橋博士さん！三省堂「今年の新語2017」選考発表会開催！

(日時) 2017年12月3日(日) 14:00~15:30 於:一橋大学一橋講堂(千代田区一ツ橋)

三省堂 辞書を編む人が選ぶ
「今年の新語 2017」

正式発表は **12/3** (日) 選考発表会にて！

NEW! 選考発表会
参加申込受付中！

一般の方も
ご観覧
いただけます

選考発表会ゲスト
水道橋博士さん

辞書の三省堂が、辞書を編む人の英知を結集し、2017年に特に広まった言葉を選んで後世に遺します。選考発表会では特別ゲストに水道橋博士さんをお招きし、辞書を編む専門家とのトークセッションを行いながら、新語ベスト10と、辞書を編む専門家が実際に付けた「国語辞典風味」の語釈を発表します。辞書のプロフェッショナルが厳選した「今年の新語2017」の切り口と面白みをご期待ください。

【三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2017」選考発表会 実施概要】

【日時】2017年12月3日(日)14:00~15:30(13:30開場)

【会場】一橋大学一橋講堂 中会議場
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅(A8・A9 出口)徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口)徒歩4分

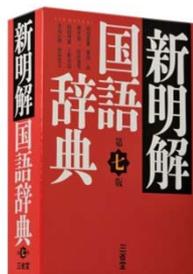
主催:株式会社三省堂 共催:三省堂書店神保町本店

「今年の新語2017」選考発表会のお知らせと観覧申込みについて詳しくは
<http://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2017/selection.html>

選考発表会のお知らせ



一橋講堂へのアクセス



商品について詳しくは



ことばの本質をとらえる
『新明解国語辞典 第七版』



商品について詳しくは



現代の生きた日本語がわかる
『三省堂国語辞典 第七版』



商品について詳しくは



現代文・評論文を読み解くための
『三省堂現代新国語辞典 第七版』

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2017」とは？

この2017年を代表する言葉(日本語)で、一過性でない、今後の辞書に掲載されてもおかしくないもの^(*)を、一般公募などの中から辞書編纂のエキスパートが慎重に選定します。ベスト10に選ばれた言葉には、実際の国語辞典の編者による「国語辞典風味」の語釈を付して発表します。

選ばれるのは、あくまで「今年特に広まったと感じられる新語」であり、必ずしも「今年生まれた言葉」ではありません。その中から、特定のジャンルやコミュニティに偏らないよう、使用者層や使用域の広がり和使用頻度の高さを考慮しつつ、来年以降も使われてゆくであろう言葉をバランスよく認定します。

三省堂では2017年に「よく見た」「よく聞いた」言葉を一般公募しております。9月1日(金)より募集を開始したところ、11月6日(月)現在、応募総数で1,589件、異なりで808語が集まっています。引き続き、11月15日(水)まで一般公募を受け付けております。

(*)実際の辞書に採録されるかどうかは、それぞれの辞書における編集会議によって決定されます。

昨年(「今年の新語2016」)のベスト10と選考理由のご紹介



「ほぼほぼ」の広がりや日常語化は「ほぼほぼ」元年にふさわしく大賞に。

外来語由来の珍しい形容詞「エモい」が続いた。

江戸時代からの「ゲスい」は、不倫問題を機に若者にまで浸透し3位に。

「レガシー」「ヘイト」「スカーチョ」の外来語が健闘し、一気に現実味を帯びた「VR」、一般語化した「食レポ」、皆が気にする「エゴサ」が食い込んだ。英語発音風の面白い略語「パリピ」が最後を飾った。

最多投稿数を得た「神ってる」は流行語の色彩が強く惜しくも選外に。リオ五輪でも見られた「チャレンジ」や家電をネットにつなぐ「IoT」は、やや力不足で選外に。

言葉の話題満載の、読みごたえある選評が好評です。
これまでの選考結果とあわせてご覧ください。

<http://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2017/archive/index.html>

過去の選考結果と選評



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社三省堂 営業局 販売部 販売宣伝課

Tel: 03-3230-9562 E-mail: www-info@sanseido-publ.co.jp